

8 外来植物

● 外来植物とは

日本にはもともといなかった種が、人間の活動によって外国から持ち込まれ野生化した植物のことです。輸入した作物にまぎれて入ってきたものや、観賞用、緑化用として持ち込まれたものなどさまざまの種類があります。

天竜川では2006～2007年度の調査で147種の外来植物が確認されており、過去の調査と比べると種数は増加しています。この中には、アレチウリ、ミズヒマワリなどの特定外来生物※や、シナダレスズメガヤなどが確認されており、もともと日本にいた在来種の生育地に侵入して住みかを奪うなど悪影響が心配されている種もあります。



天竜川の草地に繁茂する
シナダレスズメガヤ

※特定外来生物とは、外来生物法(外来生物による生態系、人の生命・身体、農林水産業への被害を防止するためにできた法律で、2005年6月1日から適用されています。)によって指定された生物で、この法律によって指定された植物を持ち運んだり、育てたり、野外へ植えたり、種をまいたりすることが禁止されています。天竜川では、アレチウリ、オオフサモ、オオカワヅシャ、オオキンケイギク、ミズヒマワリの5種が確認されています。

●植物図鑑

種名

アレチウリ

ウリ科 アレチウリ属



■解説

北アメリカ原産のツル性の草本で、つるの長さは数mになり、枝分かれして広がります。河川敷や荒れ地によく生育しています。8~10月に小さな花をつけ、実にはトゲがあります。特定外来生物に指定されています。

■天竜川で確認できるところ

天竜川で広く確認され、草地に多く生育しています。

■生育している環境

海浜	水辺	河原
草地	渓谷	樹林

■花の時期

春	夏	秋	冬
---	---	---	---

■生育している地区

河口部	下流部	中流部
-----	-----	-----

■静岡県内の他河川の分布
(河川水辺の国勢調査結果より)

菊川	大井川	安倍川	狩野川
----	-----	-----	-----

種名

オオキンケイギク

キク科 ハルシャギク属



■解説

北アメリカ原産の高さ30~70cmの草本です。道ばたや河川敷などによく生育しています。5~7月に大きな黄色の花を咲かせます。特定外来生物に指定されています。

■天竜川で確認できるところ

堤防沿いや高水敷の草地に多く生育しています。

■生育している環境

海浜	水辺	河原
草地	渓谷	樹林

■花の時期

春	夏	秋	冬
---	---	---	---

■生育している地区

河口部	下流部	中流部
-----	-----	-----

■静岡県内の他河川の分布
(河川水辺の国勢調査結果より)

菊川	大井川	安倍川	狩野川
----	-----	-----	-----

種名

ミズヒマワリ

キク科 ミズヒマワリ属

**■解説**

中央・南アメリカ原産の高さ1～1.5mの草本です。水中や水際に生育しています。ちぎれた茎から根を出して分布を広げていきます。9～10月に白色の花を咲かせます。特定外来生物に指定されています。

■天竜川で確認できるところ

支川安間川との流入部付近の水辺に生育しています。

■生育している環境

海浜	水辺	河原
草地	渓谷	樹林

■花の時期

春	夏	秋	冬
---	---	---	---

■生育している地区

河口部	下流部	中流部
-----	-----	-----

**■静岡県内の他河川の分布
(河川水辺の国勢調査結果より)**

菊川	大井川	安倍川	狩野川
----	-----	-----	-----

種名

シナダレスズメガヤ

イネ科 スズメガヤ属

**■解説**

南アフリカ原産の高さ60～120cmの草本です。7～10月に穂を出します。本種が河原に分布を広げることで、もともと河原にいた植物の生育地が減ってしまうことが心配されています。

■天竜川で確認できるところ

天竜川で広く確認され、河原や草地など広い範囲で生育しています。

■生育している環境

海浜	水辺	河原
草地	渓谷	樹林

■花の時期

春	夏	秋	冬
---	---	---	---

■生育している地区

河口部	下流部	中流部
-----	-----	-----

**■静岡県内の他河川の分布
(河川水辺の国勢調査結果より)**

菊川	大井川	安倍川	狩野川
----	-----	-----	-----